



平成30年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年8月10日

上場会社名 日本カーボン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5302 URL <http://www.carbon.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮下 尚史
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 業務統括部長 (氏名) 今井 浩二 TEL 03 (6862) 6110
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日 配当支払開始予定日 平成30年8月27日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年12月期第2四半期の連結業績（平成30年1月1日～平成30年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第2四半期	19,804	65.4	5,592	1,095.6	5,681	899.3	3,730	971.7
29年12月期第2四半期	11,972	7.0	467	155.2	568	323.6	348	—

(注) 包括利益 30年12月期第2四半期 3,613百万円 (803.97%) 29年12月期第2四半期 399百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第2四半期	337.82	—
29年12月期第2四半期	31.43	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年12月期第2四半期	62,638	36,730	49.2	2,792.2
29年12月期	57,656	33,906	48.9	2,553.2

(参考) 自己資本 30年12月期第2四半期 30,837百万円 29年12月期 28,196百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期	—	—	—	50.00	50.00
30年12月期	—	50.00	—	—	—
30年12月期(予想)	—	—	—	50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年12月期の連結業績予想（平成30年1月1日～平成30年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,200	61.6	13,000	406.0	13,000	333.8	8,500	187.1	769.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社、除外 一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年12月期2Q	11,832,504株	29年12月期	11,832,504株
② 期末自己株式数	30年12月期2Q	788,402株	29年12月期	788,847株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年12月期2Q	11,043,735株	29年12月期2Q	11,077,422株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P.3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出、生産活動、設備投資等が持ち直し、先行きに回復の傾向が見える形となってきました。

世界経済は、米国では製造業の業況は堅調に推移しておりますが、通商政策面では鉄鋼・アルミ関税の賦課による生産コストの上昇があり、各国との貿易への影響も懸念されております。欧州では、景気は緩やかに拡大しておりますが、製造業の軟調等下振れの懸念もあります。中国では、生産・輸出の伸びが拡大する一方、消費や投資の伸びは縮小となりました。

このような状況の中、当社グループの主要関連産業であります鉄鋼産業は、建設業、製造業の生産増等の背景もあり需給の強まりを見せており、半導体関連産業は需要の好調さが持続しております。

こうした事業環境を背景に、当社グループでは更なる発展のための体制強化を行ってまいります。7月にはドイツにNippon Carbon Europe GmbHを、8月には米国にNIPPON CARBON OF AMERICA, LLCを当社100%出資により設立し、今後の欧米での事業展開の推進を図ってまいります。また、7月に連結子会社である東北テクノカーボン株式会社を存続会社とし、同じく連結子会社である京阪炭素工業株式会社および九州炭素工業株式会社の3社を合併し、株式会社N T C Mを設立をすることで効率的な加工体制の整備をしてまいります。

このほか、企業市民としてコンプライアンス体制の一層の強化・拡充と最良の製品を通して広く社会に貢献すべく品質管理の徹底を推進してまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高198億4百万円（前年同四半期比65.4%増）、営業利益55億9千2百万円（同1,095.6%増）、経常利益56億8千1百万円（同899.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益37億3千万円（同971.7%増）と増収増益となりました。

なお、セグメント別の業績は次のとおりであります。

(炭素製品関連)

電極部門は、主要原材料価格の上昇はあるものの、売価是正が引き続き進展し、事業環境は好調さを深めております。

化学構造材料用不浸透黒鉛レスボンにつきましても、堅調な状況が続いております。

ファインカーボン部門は、炭素繊維及び特殊炭素材料につきましても、半導体市場の活況が持続していることもあり、良好に推移をしております。リチウムイオン電池負極材の販売は、車載向けを中心に手堅い動きをしております。

この結果、売上高は183億9千4百万円（前年同四半期比67.6%増）、セグメント利益（営業利益）は54億1千8百万円（同1,650.3%増）となりました。

(炭化けい素製品関連)

炭化けい素繊維の製造・販売は、昨年末の第2工場の本稼働後、順調に推移しました。その結果、売上高は10億8百万円（前年同四半期比72.4%増）、セグメント利益（営業利益）は1億4百万円（前年同四半期は2千4百万円の営業損失）となりました。

(その他)

産業用機械の製造・販売及び不動産の賃貸は底堅く推移はしましたが、売上高は4億2百万円（前年同四半期比2.6%減）、セグメント利益（営業利益）は6千6百万円（同24.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は626億3千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ49億8千2百万円増加しました。流動資産は、売上債権の増加23億6千3百万円、現金及び預金の増加20億円およびたな卸資産の増加15億1千9百万円等により、393億1千4百万円と前連結会計年度末に比べ54億7千3百万円の増加となりました。固定資産は、投資有価証券の減少5億3千1百万円等により233億2千4百万円と前連結会計年度末に比べ4億9千1百万円減少しました。

負債は259億8百万円となり、前連結会計年度末に比べ21億5千8百万円増加しました。流動負債は、仕入債務の増加15億8千7百万円および未払法人税等の増加10億7千8百万円等により180億9千5百万円と前連結会計年度末に比べ29億2千2百万円増加しました。固定負債は、長期借入金の返済による減少5億8千7百万円および退職給付に係る負債の減少1億5千万円等により、78億1千2百万円と前連結会計年度末に比べ7億6千3百万円減少しました。

純資産は、配当金の支払5億5千4百万円およびその他有価証券評価差額金の減少4億9百万円がありました。親会社株主に帰属する四半期純利益37億3千万円等により367億3千万円と前連結会計年度末に比べ28億2千3百万円増加しました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末と比べ20億円増加し、134億4千2百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と主な内容は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果、44億3千7百万円の収入(前年同四半期 29億4百万円の収入)となりました。売上債権の増加額23億9千3百万円、たな卸資産の増加額15億5千万円がありました。税金等調整前四半期純利益56億8千1百万円、仕入債務の増加高15億9千5百万円および減価償却費7億5千2百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果、11億1百万円の支出(前年同四半期 11億3百万円の支出)となりました。これは、有形固定資産の取得11億9百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果、13億3千1百万円の支出(前年同四半期 8億1千3百万円の支出)となりました。これは、配当金の支払5億5千万円および長期借入金の返済による支出5億5千万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、平成30年4月27日に公表いたしました第2四半期の業績予想および通期の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「平成30年12月期第2四半期累計期間の連結業績予想と実績値との差異および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,586	13,587
受取手形及び売掛金	10,262	12,625
商品及び製品	5,508	6,259
仕掛品	3,804	4,074
原材料及び貯蔵品	1,569	2,068
繰延税金資産	642	421
その他	492	300
貸倒引当金	△25	△23
流動資産合計	33,840	39,314
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	15,572	15,589
減価償却累計額及び減損損失累計額	△9,306	△9,457
建物及び構築物 (純額)	6,265	6,131
機械及び装置	41,673	41,800
減価償却累計額及び減損損失累計額	△36,576	△36,788
機械及び装置 (純額)	5,097	5,012
車両運搬具及び工具器具備品	2,917	2,998
減価償却累計額及び減損損失累計額	△2,625	△2,674
車両運搬具及び工具器具備品 (純額)	291	323
土地	3,522	3,517
建設仮勘定	113	251
有形固定資産合計	15,290	15,235
無形固定資産	198	188
投資その他の資産		
投資有価証券	6,695	6,163
繰延税金資産	146	127
その他	1,500	1,619
貸倒引当金	△16	△9
投資その他の資産合計	8,326	7,900
固定資産合計	23,815	23,324
資産合計	57,656	62,638

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,349	5,936
短期借入金	8,417	8,391
未払法人税等	358	1,436
賞与引当金	135	183
役員賞与引当金	69	55
その他	1,843	2,091
流動負債合計	15,173	18,095
固定負債		
長期借入金	5,977	5,389
繰延税金負債	853	861
退職給付に係る負債	1,059	908
役員退職慰労引当金	74	34
役員株式給付引当金	23	35
環境対策引当金	65	65
資産除去債務	73	73
その他	450	443
固定負債合計	8,576	7,812
負債合計	23,750	25,908
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,402	7,402
資本剰余金	7,800	7,800
利益剰余金	12,638	15,636
自己株式	△1,967	△1,967
株主資本合計	25,874	28,872
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,424	2,015
為替換算調整勘定	4	41
退職給付に係る調整累計額	△106	△91
その他の包括利益累計額合計	2,322	1,964
非支配株主持分	5,709	5,893
純資産合計	33,906	36,730
負債純資産合計	57,656	62,638

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)
売上高	11,972	19,804
売上原価	9,677	11,831
売上総利益	2,295	7,972
販売費及び一般管理費	1,827	2,380
営業利益	467	5,592
営業外収益		
受取配当金	72	66
持分法による投資利益	-	30
保険差益	11	0
為替差益	56	13
その他	90	77
営業外収益合計	230	187
営業外費用		
支払利息	42	44
持分法による投資損失	67	-
その他	19	54
営業外費用合計	129	98
経常利益	568	5,681
税金等調整前四半期純利益	568	5,681
法人税、住民税及び事業税	83	1,326
法人税等調整額	53	405
法人税等合計	136	1,731
四半期純利益	431	3,949
非支配株主に帰属する四半期純利益	83	218
親会社株主に帰属する四半期純利益	348	3,730

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年1月1日 至 平成30年6月30日)
四半期純利益	431	3,949
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△79	△412
為替換算調整勘定	54	61
退職給付に係る調整額	△6	14
その他の包括利益合計	△32	△336
四半期包括利益	399	3,613
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	291	3,370
非支配株主に係る四半期包括利益	107	242

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年1月1日 至 平成30年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	568	5,681
減価償却費	728	752
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△163	△150
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	1	△39
受取利息及び受取配当金	△72	△66
支払利息	42	44
持分法による投資損益 (△は益)	67	△30
売上債権の増減額 (△は増加)	△114	△2,393
たな卸資産の増減額 (△は増加)	533	△1,550
未収入金の増減額 (△は増加)	544	213
仕入債務の増減額 (△は減少)	55	1,595
未払費用の増減額 (△は減少)	85	360
その他	151	327
小計	2,429	4,744
利息及び配当金の受取額	73	67
利息の支払額	△43	△44
法人税等の還付額	316	5
法人税等の支払額	△161	△338
保険金の受取額	90	3
補償金の受取額	198	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,904	4,437
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,081	△1,109
無形固定資産の取得による支出	△28	△13
投資有価証券の取得による支出	△3	△3
投資有価証券の売却による収入	-	5
その他	9	18
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,103	△1,101
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△31	△110
長期借入金の返済による支出	△30	△550
自己株式の純増減額 (△は増加)	△137	0
配当金の支払額	△548	△550
非支配株主への配当金の支払額	△66	△120
財務活動によるキャッシュ・フロー	△813	△1,331
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	△3
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	989	2,000
現金及び現金同等物の期首残高	10,408	11,441
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,398	13,442

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年6月30日)

① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	炭素製品 関連	炭化けい素 製品関連	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,974	584	412	11,972	-	11,972
セグメント間の内部売上高又は振替高	1	-	211	213	△213	-
計	10,976	584	624	12,185	△213	11,972
セグメント利益又はセグメント損失(△)	309	△24	88	373	94	467

(注) 1. セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成30年1月1日至平成30年6月30日)

① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	炭素製品 関連	炭化けい素 製品関連	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	18,394	1,008	402	19,804	-	19,804
セグメント間の内部売上高又は振替高	2	-	207	210	△210	-
計	18,397	1,008	609	20,015	△210	19,804
セグメント利益	5,418	104	66	5,590	1	5,592

(注) 1. セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。